

静岡新聞 掲載記事 2013年4月3日朝刊

	<p>鍵盤ハーモニカの演奏を披露する出演者 ＝浜松市中区のクリエート浜松</p>
<p>若手演奏家が出演 多彩な音色奏でる</p>	<p>中区</p>
<p>県内出身の若手演奏家らが出演する「ふじのくにユニバーサルミュージックフェスティバル in ハママツ 春の祭典」（ふじのくに文教創造ネットワーク主催、静岡新聞社・静岡放送後援）がこのほど、浜松市中区のクリエート浜松で開かれた。</p>	<p>掛川市出身のピアノ</p>
<p>スト今田篤さんがドビュッシーの「月の光」やリストの「愛の夢」など5曲を披露した。</p>	<p>公募で集まった県西部の小学生10人による鍵盤ハーモニカの演奏や、浜松市立与進中吹奏楽部のステージもあり、聴衆は多彩な音色を楽しんだ。</p>
<p>曲の合間には、浜松で誕生した鍵盤ハーモニカの製作秘話を紹介したり、出演者が演奏した。楽器の魅力を語ったりした。</p>	

(写真) 第2部 浜松生まれの楽器“鍵盤ハーモニカ”スペシャルステージ

演奏：Flying Doctor（鍵盤ハーモニカ・カルテット）